

ずいき（さといも（葉柄））

ずいきには、「さといも（葉柄）」、「ずいき類」、「茎野菜類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。「さといも」は「さといも」、「いも類」、「野菜類」に適用のある農薬を使用すること。

——— 発病・加害時期
 === 発病・加害最盛期

作型・病害虫名		月											
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
ハ ウ ス 早 熟 普 露 地 抑 制	種いも伏せ込み												
	定植			○	△								
軟 腐 病 ハ ス モ ン ヨ ト ア ブ ラ ム シ 類 ハ ダ ニ 類	収穫												

軟腐病

留意事項

- 1 収穫直前に雨が続くと被害が多い。
- 2 病原菌は土中及び被害部に付着して越冬する。

防除方法

- 1 排水を良好にする。
- 2 連作を避ける。
- 3 被害株は早期に除去する。
- 4 植付け時に無病いもを用いる。

黒斑病

防除方法

- 1 種いもは、無病地から採取する。
- 2 植付け時に無病いもを用いる。

ハスモンヨトウ

留意事項

- 1 年5～6回発生で8～9月頃の被害が最も大きい。
- 2 老齢幼虫の防除は困難なので、若齢期防除に重点を置く。

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。

防除方法

- 1 下記の薬剤を、若齢幼虫期を対象に散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【2000倍 7日/2回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【2000倍 3日/2回】
 - ・ [トレボン乳剤](#) 3 A 【1000倍 7日/3回】
 - ・ [BT剤](#) 1 1 A (IX野菜類の病害虫防除 3野菜類参照)

アブラムシ類

留意事項

- 1 アドマイヤー顆粒水和剤は、希釈倍数を間違えないよう注意する。

防除方法

- 1 下記の薬剤を施用する。
 - ・ [アドマイヤー1粒剤](#) 4 A 【4kg/10a 植溝土壌混和 植付時/1回】
- 2 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [アディオン乳剤](#) 3 A 【3000倍 7日/2回】
 - ・ [アドマイヤー顆粒水和剤](#) 劇 4 A 【10000倍 前日/2回】
 - ・ [粘着くん液剤](#) - 【野菜類 100倍 前日/ー】
 - ・ [サンクリスタル乳剤](#) -
 【野菜類（除なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎく） 300倍 前日/ー】

ハダニ類

留意事項

- 1 薬剤抵抗性が生じやすいので、同一系統薬剤の連用を避け、ローテーション散布を行う。

防除方法

- 1 発生を認めたら下記の薬剤を散布する。
 - ・ [コロマイト乳剤](#) 6 【1000倍 前日/2回】
 - ・ [カネマイトフロアブル](#) 2 0 B 【1500倍 3日/1回】
 - ・ [コテツフロアブル](#) 劇 1 3 【カンザワハダニ 2000倍 3日/2回】
 - ・ [粘着くん液剤](#) - 【野菜類 100倍 前日/ー】
 - ・ [サンクリスタル乳剤](#) -
 【野菜類（除なす、トマト、ミニトマト、しゅんぎく） 300~600倍 前日/ー】

注1：同じ農薬名でも、メーカーにより登録内容が異なる場合があるので、使用時には登録を確認してください。

注2：異なる農薬名でも、同一成分を含む場合があるので、成分の総使用回数はラベルで確かめて使用してください。